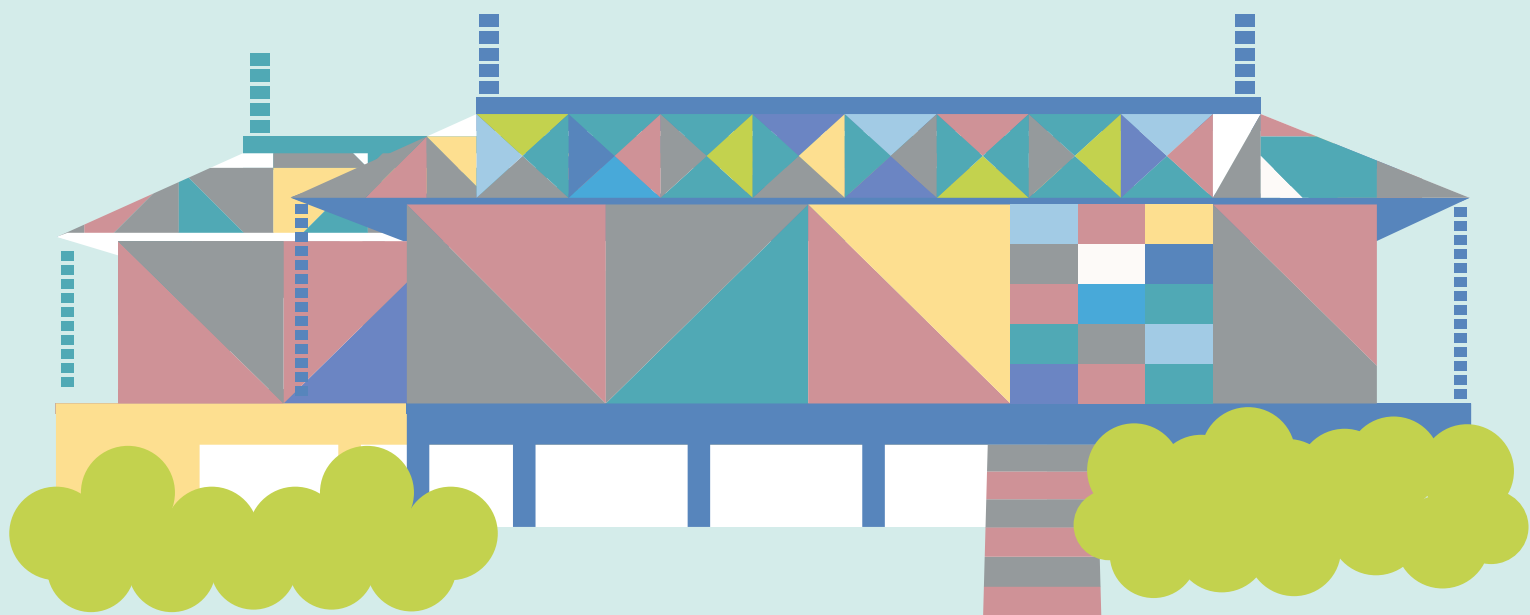
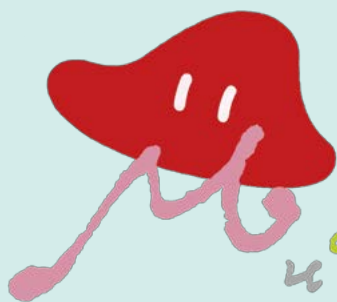


美術館へ

行こう！

2023

スクールプログラム



茨城県近代美術館

多くの子供たちに美術館の楽しさを伝えたい

「美術館ってどんなところだろう？」

「ちょっと緊張するな……」

「作品の見方って、よく分からないな」

と思っている子供たちや先生たちに美術館で楽しんでもらえる、さまざまなスクールプログラムをご用意しています。

もくじ

1 美術館に行ってできること…………… 1

(1) 申込なしでできること

- ① 展覧会を楽しむ
- ② 美術について学ぶ
 - ・アートフォーラム
 - ・作品解説

(2) 申込が必要なもの—美術館をもっと楽しむためのプログラム

団体鑑賞の方法

- ① スクールオリエンテーション
- ② 館内「ハロー！ミュージアム」
- ③ 対話型アートツアー
- ④ ワークショップ
- ⑤ 中村彝アトリエ見学
- ⑥ 簡易模写

2 学校でできること…………… 11

- (1) アートカードの活用
- (2) 複製画の活用
- (3) アウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」

3 教員向け講座—美術館セミナー…………… 19

4 その他の学校向け教育普及活動…………… 20

- (1) 職場体験・インターンシップ
- (2) 高校生特派員制度

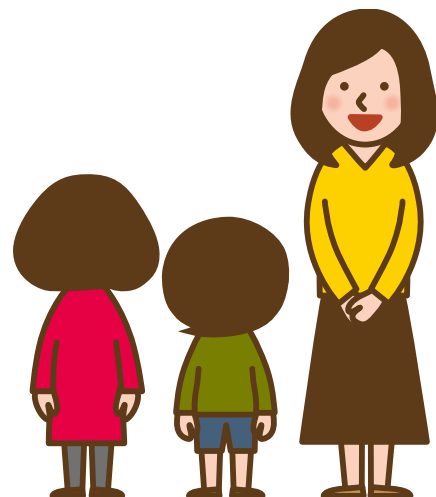
各種申請書……………	21
ワークシート……………	23
館内立体マップ……………	26
茨城県近代美術館について……………	28
ご利用案内・交通案内……………	29



オーギュスト・ルノワール
「マドモワゼル・フランソワ」



佐伯祐三
「コルドヌリ(靴屋)」



1

美術館に行っていること

(1) 申込なしでできること

① 展覧会を楽しむ

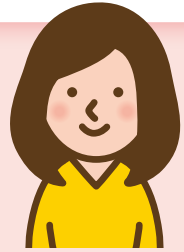
● 企画展(2階) ……約 40 分

国内外の優れた美術作品を紹介する特別展です。
年間4～5回程度開催しています。

● 所蔵作品展(1階) ……約 30 分

日本画の横山大観、小川芋銭、洋画の中村彝、彫刻の木内克など郷土の作家を中心とした日本の近代美術と、彼らに影響を与えた西洋美術を季節やテーマによって作品を入れ替えて紹介しています。

左の時間を目安に、
それぞれの学習活動
に応じて計画を立て
てください。



展覧会を楽しむアイデア

● まずは会場を1周してみる

最初に展覧会全体をみてまわりながら「気になる作品」を探します。

● 2周目以降、「気になった作品」をじっくりみる

細部までよくみながら、どこが気になったのか考えてみましょう。

作品の楽しみ方

Point1 立ち止まって じっとみてみよう

じっとみていると、
いろいろな美しさ、
おもしろさがみえて
きます。



中西利雄「彫刻と女」



Point2 近くに寄ったり 遠くでみたりしてみよう

近くからと遠く
からでは作品の
みえ方、印象が
かわります。



クロード・モネ
「ポール＝ドモワの洞窟」



Point3 作品のまわりを ぐるぐるまわってみよう

彫刻は正面だけでなく、
横、斜め、といろいろ
な角度からみて気に入
った角度をさがすの
も楽しみの一つです。



中原悌二郎
「若きカフカス」

Point4 素材や技法の違いを みてみよう

油彩画、日本画
など表現や素材、
技法の違いに注
目して鑑賞する
のも楽しいです。



横山大観
「山に因む十題
霊峰四趣・その一春」



中村彝
「カルピスの包み紙の
ある静物」

②美術について学ぶ

各コーナー、イベントの内容、開催期間についての最新の情報は、ホームページ等でご確認ください。

アートフォーラム

美術に関する解説映像や図書資料、簡単なものづくり等を自由に楽しめる、無料のスペースです。



展示コーナー

解説パネルや画材などを展示しています。簡単なものづくりをしたり、絵本を読んだりさまざまな体験ができるコーナーもあります。



映像コーナー（大型スクリーン、パソコン：6台）

パソコンで作家や作品等、所蔵作品の情報を検索できます。お絵かきソフト等もあります。また、大型スクリーンで所蔵作品の紹介等を上映しています。



図書コーナー

図工・美術関係の図書や雑誌を自由に閲覧できます。

作品解説

●企画展鑑賞講座（企画展ごと1回、約1時間）

企画展の見どころや作品について学芸員がご紹介します。

●所蔵作品展ギャラリートーク（毎月第3土曜日、午前11時～約30分）

「ようこそ！美術の森へー学芸員と巡るコレクション」

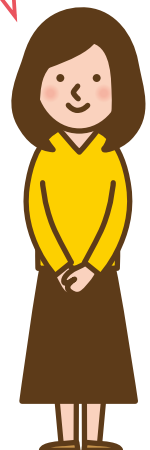
所蔵作品展を鑑賞しながら語り合う、対話型のギャラリートークです。

※中学校や高等学校の美術部の活動などご利用いただくことをおすすめします。



「ようこそ！美術の森へー学芸員と巡るコレクション」

詳しい日程等は、ホームページをご覧ください。



(2) 申込が必要なもの—美術館をもっと楽しむためのプログラム

学校団体で見学の場合は、こちらがおすすめです。

団体鑑賞の方法

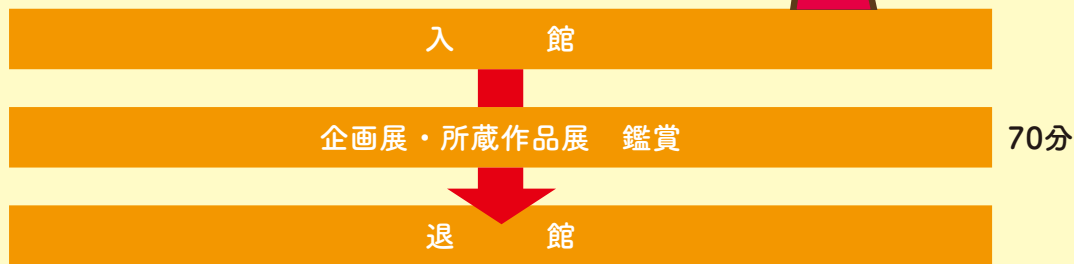
下記の時間を目安に校外学習や部活動など学習内容に応じて、計画を立ててご利用ください。

- ・美術部など少人数でもお受けします。
- ・日曜・祝日や夏休みなどの期間でも可能です。

引率者の見守りのもと
展覧会鑑賞を中心に
見学したい。

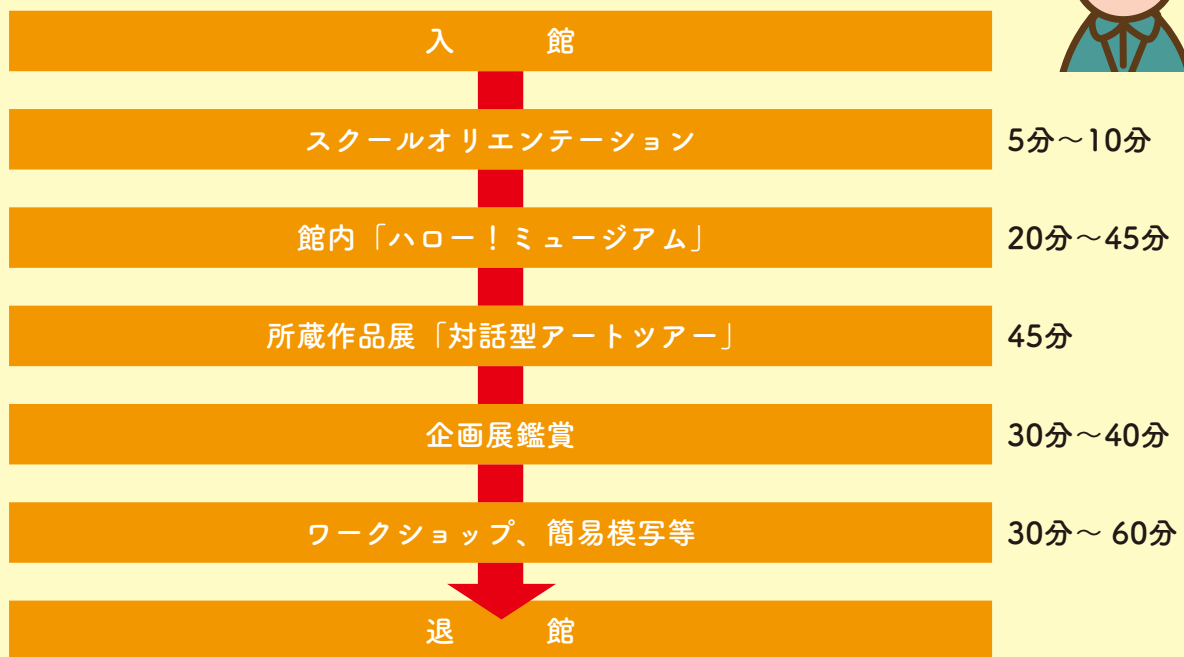
来館見学コース例

① 70分コース



より充実した鑑賞体験をする
ため、体験プログラムを組み
合わせて見学したい。

② 130～200分コース



申込方法

電話にて申込の後「入館料減免申請書（P.21）」をメールまたは郵便、FAXで送付してください。
入館料減免申請書のご提出により、児童生徒や引率教員は**無料**となります。

※各種体験プログラムのお申込は、3週間前までにお電話ください。予約状況を確認し、ご相談した上で、
申込完了になります。

※詳細は HP<トップ → 教育プログラム → 学校団体のご利用>をご覧ください。

※教育プログラムは受入限度があります。お受けできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

駐車場

当館正面の「ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場」をご利用ください。駐車場の入口で一旦駐車料金をお支払いいただきますが、当館総合受付にて駐車料金のレシートと引き替えに返金いたします。

※展覧会をご覧いただく場合に限りです。

事前準備

必要に応じて、下見や打ち合わせにも応じます。当日の団体行動がスムーズにできるよう、下記のことについて事前に確認されることをおすすめします。

- ・ 集合場所、オリエンテーションの場所、バスからの誘導経路、車椅子利用者の乗降場所
- ・ 展覧会内容、鑑賞のポイント、鑑賞マナー

※詳細は HP<トップ → 教育プログラム → 学校団体のご利用 → 事前準備のお願い>に事前指導用の資料や動画を掲載しています。ご活用ください。

写真撮影

集合写真等を撮影したい場合は、その旨をお申し出ください（エントランスロビーに限り、許可しています）。

荷 物

貴重品は各個人でお持ちください。

人数が多い場合は、講座室や講堂にまとめて置くことができますので、ご相談ください。

少人数の場合は、コインロッカー（100円硬貨専用、硬貨は使用後返却）を使用するか、総合受付に預けてください。

筆記用具

館内で筆記用具、ワークシート等を使う場合は、事前にお知らせください。筆記用具は鉛筆に限ります。
展示室内やエントランスロビーでは消しゴムは使えません。

昼 食

芝生広場、講座室（利用人数 50 人程度）で昼食をとることができます。

※イベント等で講座室が利用できない場合がありますので、申込時にご相談ください。

バリアフリー

- ・ 車椅子利用者がいらっしゃる場合は、あらかじめ電話等でご相談ください。入館しやすい入口等をご案内いたします。
- ・ 車椅子の貸出もいたします。申込時にご相談ください。
- ・ 1階トイレには、車椅子等でも利用しやすいトイレが併設されています。

① スクールオリエンテーション

内 容

- ・茨城県近代美術館の概要（施設、所蔵作品等）
- ・展覧会の見どころについて
- ・美術館でのマナー、鑑賞のポイントについて



所要時間

5分～10分程度

場所・人数

1階エントランスロビー：50人まで

地階講堂：250人まで

※250人以上の場合には、何回かに分けて行います。

② 館内「ハロー！ミュージアム」

内 容

当館スタッフが、作品の見方や楽しみ方を伝えるために、映像による作品鑑賞・クイズ・インタビューを行います。スクールオリエンテーションと組み合わせて利用することもできます。

※「ハロー！ミュージアム」の詳しい内容についてはP.16参照。



所要時間

20分～45分程度

場 所

地階講堂

人 数

最大250人程度

※250人以上の場合には、何回かに分けて行います。

③対話型アートツアー

内 容

5～6人程度のグループごとに当館スタッフが付き、子供たち一人ひとりの発言を引き出す対話を行いながら、所蔵作品を鑑賞します。

「作品を見て感じたことや考えを自由に言葉で表現すること」

「他人の意見を否定せずに受け入れること」

を大切にしています。

「みる・考える・話す・聞く」を繰り返し、それぞれの考えや視点をみんなで共有することにより、作品の見方を広げ、多様な考えを受け入れる力を養うことができます。



所要時間

45分程度

場 所

1階所蔵作品展示室、エントランスロビー

人 数

40人程度（1グループ5～6人程度） ※40人以上の場合には、何回かに分けて行います。

参加した子供の声

自分の意見を話し、友達の意見を聞く活動が楽しかった。友達の話を聞くと作品のイメージが広がっていった。

今度は家族で来て絵について話してみたい。



引率の先生の声

対話を通して思ったことを表現する活動は、多教科で活用でき、その力を養えると感じた。

普段は大人しい児童も積極的に活動している姿に驚いた。

鑑賞補助教材「ARTトランク」

当館職員とボランティア、高校生特派員(P.20)が協力して考案、作成した鑑賞補助教材です。所蔵作品展での対話型アートツアーで、当館職員やボランティアが使用します。どの教材を使うかは、当館にお任せください。



アートおみくじ

中にはさまざまな形容詞が書かれたくじが入っています。それをもとに作品に対する印象や感想を話し合います。



巻物ミッション

巻物には“ミッション”が書いてあります。それをもとに作品を探します。



ひらめきサイコロ

視覚や嗅覚などをもとに、作品から受けた印象を話し合います。



アドベンチャー・ファイル

作品をみながら、自分で想像したお話や題名を考えます。



使用した子供の声

サイコロをふって、出た絵を手がかりに作品から感じる匂いや音、触った感じを想像すると、いろいろなことに気がつくことができ、楽しかった。

同じお題で絵を探しても、人によって色々な考えがあることに驚いた。



引率の先生の声

サイコロやおみくじといったアイテムを使うことで、子供たちの鑑賞への興味関心が高まり、グループ全員が参加することができてよかった。

鑑賞をする際の視点がわかり、学校での授業でも使えると思った。

④ワークショップ

内 容

展覧会鑑賞と組み合わせて、当館スタッフと一緒に簡単なものづくりを行うことができます。
学校の希望を聞き、時間、人数、年齢に合わせた内容を当館がご提案いたします。



所要時間

30分～60分程度

場 所

地階講座室

人 数

40人程度 ※40人以上の場合には、何回かに分けて行います。



ワークショップ例

- オリジナル缶バッジ
・クレヨンメルトアート、ゼンタングル、モダンテクニック等で作った図柄の、世界で一つだけの缶バッジを作ります。
- オリジナルグリーティングカード
・手作りスチレンスタンプや色紙でつくるお花色紙の工作で飾り付けをして来館記念のカードを作成します。
- 季節の工作
・季節にあわせた飾りやおもちゃを作ります。

⑤中村彝^{つね}アトリエ見学

内 容

大正期に活躍した水戸出身の洋画家中村彝（1887-1924）の東京都新宿区下落合にあったアトリエを新築復元したものを見学します。

※都合によりアトリエを閉室していることがあります。
見学を希望する場合にはお電話でご相談ください。



所要時間

1回の入室 30分程度

場 所

当館南側の敷地内

人 数

団体で利用する場合には、複数回に分けての見学となります。※外観のみの見学は人数制限なし。

⑥簡易模写

内 容

作品をじっくりみて、写し取ることで、作者の意図を感じ取り、理解することができます。当館では鉛筆や色鉛筆を使用した簡易模写を体験することができます。

申込方法

電話にて申込の後、「簡易模写申込書 (P.21)」をメール、郵便またはFAXでお送りください。

※詳細はHP<トップ → 教育プログラム → 簡易模写>をご覧ください。

所要時間

45分程度

場 所

1階所蔵作品展示室およびエントランスロビー

人 数

40人程度 ※40人以上の場合には、何回かに分けて行います。

●使用できるものについて

場 所	当館で認めているもの		ご遠慮いただいているもの
	所蔵作品展示室1・2	エントランスロビー	
筆記用具	<ul style="list-style-type: none">鉛筆(当館貸出の色鉛筆を含む)	<ul style="list-style-type: none">鉛筆(当館貸出の色鉛筆を含む)コンテパステル※パステルを使用の場合、フィキサチーフ(定着用スプレー)等はエントランスロビーでは使用できません。使用する場所は、講座室(地階)となります。※消しゴム、鉛筆削りは、決められた場所のみで使用。	<ul style="list-style-type: none">ボールペン、インキ、墨汁、木炭、水彩、油彩等※材質が液状またはもろく、飛散して作品等に付着する恐れがあるため。シャープペンシル等※先の金属部分や芯が作品を傷つける恐れがあるため。消しパン等※消しくずが散らばり、作品や展示環境の保全に支障が出るため。
補助用具	<ul style="list-style-type: none">肩掛けひも付き画板、バインダー	<ul style="list-style-type: none">イーゼル、肩掛けひも付き画板、バインダー	

●美術館で用意できる用具

色鉛筆、肩掛けひも付き画板、鉛筆削り、クリップ、イーゼル、バインダー



美術館でのマナー

※HP<トップ → 教育プログラム → 学校団体のご利用 → 事前準備のお願い>に事前指導用の画像や動画を掲載しています。ご活用ください。

美術鑑賞はゆっくりのんびりマイペースが基本です。でも、気をつけてほしいこともあります。それは、作品を大切にすること、他の来館者のことを考えて見るということです。美術館には貴重な作品がたくさん展示されています。作品に負担をかけずに良い状態に保つために展示室の温度や湿度を一定にしたり、照明を暗くしたりしています。また、いろいろな人が来ているので、皆さんが静かにゆったりした気持ちで見られるよう、ご協力をお願いします。

■ 作品を守るための約束



作品にはさわらない

手の汗や油等が作品につくと、変色やカビの原因になります。立体作品の展示台も同じです。こわれやすい作品もあります。



メモをするときは鉛筆で

ボールペンや水性ペン等のインクがつくと、染みこんで取れません。シャープペンシルも先の金属部分や芯で傷をつけてしまうことがあるかもしれません。



展示室内や作品の近くで飲食をしない

作品に飲食物がついたら大変です。飴やガム等もご遠慮いただいています。ふたがしっかり閉まる容器（水筒やペットボトル等）の飲み物に限り、決められた場所で飲むことができます。



指定場所以外でカメラやビデオ等で撮影をしない

フラッシュ等の強い光は作品を傷めます。また、著作権保護のために撮影が禁じられている作品が多数あります。



展示室の中で携帯電話は使用できません

呼び出し音や通話は、まわりにいる人の迷惑になります。



他の来館者のことを考えてね。
大きな声で話したり、かけまわったりしないでね。

2 学校でできること

(1) アートカードの活用

当館の所蔵作品から選りすぐりの64点をはがきサイズのカードにしたものを貸し出します。ゲーム的要素を取り入れ、遊びながら作品に親しみ、作品の細部をよくみる習慣を身に付けられます。美術館での鑑賞の事前指導や教員研修にもおすすめします。



セット内容

アートカード 64 枚(日本画・洋画・彫刻等の作品)、アートカードガイド、アートカード掲載作品解説書、作品一覧、収納バッグ

数 量

8セット(一箱)単位で貸し出します。教員用として1セットのみの貸出も可能です。

貸出期間

1か月以内(研修・授業公開等で、長期貸出希望の場合にはご相談ください)

申込方法

電話にて申込の後、「アートカード借用申込書(P.22)」をメールまたは郵便、FAXで送付してください。

貸出方法

美術館で直接引き渡しまたは宅配(送料は利用者負担)

※詳細は [HP<トップ>](#) → [教育プログラム](#) → [アートカード貸出](#) をご覧ください。

遊び方の例と、身に付けることができる力

- 共通点を見つける「**ペアを見つけるゲーム**」 → 観察力、色や形等の特徴をとらえる力
- 自分なりのテーマで展覧会をつくる「**マイ展覧会**」 → テーマに沿って作品を選び、構成する力
- 感じたことを擬音語などで表現する「**どんな音がきこえるかな?**」 → 観察力、言葉による表現力

使用した子供の声

友達の発表を聞いていたら、作品のイメージが広がっていった。



使用した先生の声

色、構図、筆のタッチなどいろいろな視点をもって、作品をみる力がついた。

(2)複製画の活用

モネやルノワール、レオナルド・ダ・ヴィンチやエル・グレコ、フェルメールなどの世界の名画の複製画を貸し出します。

図工・美術の授業や、部活動、学校行事等で活用したり、環境美化のために校内に飾ったりするなどさまざまな場面でご活用ください。

※複製画作品一覧（P.13～15を参考にしてください）

貸出期間

4月中旬から3月

貸出点数

5点まで

利用期間

4か月以内（長期貸出希望の場合には、ご相談ください）

申込方法

電話にて申込の後、「複製画借用申込書（P.22）」をメールまたは郵便、FAXでお送りください。

※詳細はHP<トップ → 教育プログラム → 複製画の貸出>をご覧ください。

貸出方法

利用者にご来館いただき、直接引き渡しします。

●複製画を運ぶ車両について

複製画が入る大きさの車両をご用意ください。

●駐車場所について

美術館裏手の搬出入口へ車両を止め、美術館裏口の警備員室に来館の旨を申し出てください。

●作品の選択について

原則として事前の複製画の予約は受け付けていません。貸出当日、在庫から自由に選ぶことはできますが、他の学校に貸出中の場合等、ご希望に添えないことがありますのでご了承ください。なお、授業等で特定の作品が必要な場合は、ご相談ください。



複製画作品一覧表

通し 番号	作品 番号	作品名	作家名	寸法(外箱)	寸法(額)
				縦×横×幅	縦×横×幅
1	160	グレーの橋	浅井 忠	48×57×8	46.5×54.5
2	63	マドンナ	アルク・シャガール	42×106×3	105×40.5×2
3	17	モレーの朝	アルフレッド・シスレー	65×72×5.5	62.6×70.1×5
4	18	卓上のぶどうとくすみ	アルフレッド・シスレー	59×74×9	53.7×70.5×6.2
5	19	セーヌ河畔の村	アルフレッド・シスレー	71×87×9	65.4×80.5×4.5
6	45	ポール＝マルリーの洪水	アルフレッド・シスレー	102×112×19	86.4×106.8×7.3
7	46	セーヴルへの道(マシントン通り), ルーヴシエンヌ	アルフレッド・シスレー	102×112×20	71.3×86.9×8.7
8	47	モレ・シュル・ロワンの橋	アルフレッド・シスレー	102×112×21	91.1×106.3×7.5
9	157	グラント・ジャット島	アルフレッド・シスレー	63×53×10	51×60
10	138	アヴォン河のほとり	アルフレッド・パーソンズ	80×110.5×10	76×106.5×8.5
11	140	シテール島での愛の巡礼	アントワーヌ・ヴァトー	107×143×10.5	102×138.5×9.5
12	117	サンタ・マリア・デリ・アンジェリ聖堂	アンリ＝エドモン・クロス	93×79×10	74.5×86.5×7
13	55	“リンガー・ロンガー・ルー”を歌うイヴェット・ギルペール	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	55×69×5	64.9×50.4×2.8
14	172	踊るジャンヌ・アヴリル	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	95×59×8	91×55×4
15	182	赤のハーモニー	アンリ・マティス	94×66×5	94×78×12
16	84	人物(女性)	アンリ・ルソー	56×75×3	74.3×56.6×2
17	109	熱帯林・雄牛と戦う虎	アンリ・ルソー	75×85×8	80.3×69.8×4.5
18	110	リュクサンブール公園	アンリ・ルソー	80×91×10	75.2×86.3×7.2
19	1	チューリップ畑	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	85×91×15	65.6×79.2×6
20	22	藁葺き家	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	80×92×10	74.3×86.5×6
21	23	ジプシーのキャラバン	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	80×92×10	77.1×84.2×7.6
22	24	ガシエ医師の肖像	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	93×85×14	86.5×76×7.5
23	50	馬鈴薯を食べる人々	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	102.5×104.5×14.5	91.6×111.2×7.6
24	51	オーヴェルの教会	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	111×100×13	106.5×89.6×6.5
25	52	種まく人	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	103×120×12	95.7×111.4×8.7
26	83	ひまわり	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	74×66×10.5	69×57×4.5
27	106	星降る夜, アルル	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	53×62×5	49×57.5×4.5
28	131	夜のカフェテラス	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	102×114×14	91.3×107.5×5.7
29	147	オーヴェルの家	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	64×76×11	61×73×7.5
30	150	アルルのはね橋	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	80×90×10	73×85×8
31	152	ゴッホの寝室	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	57×64×10	54×61×7.5
32	154	タンギー親爺の肖像	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	67×59×8	64×57×4
33	164	糸杉と星の道	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	78×65×9	73×61×5.5
34	165	アイリス	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	64.5×55.7×9.2	60×52.5×8
35	179	花咲くアーモンドの枝	ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ	75×63×6	73×61×4
36	80	引き潮のトルーヴィル港の入口	ウージェーヌ・ブーダン	50×56×6	43.5×52×4
37	132	トルーヴィルの海水浴場	ウージェーヌ・ブーダン	85×91×15	56.8×84.4×7.2
38	133	ヴェニスの大運河	ウージェーヌ・ブーダン	85×91×16	66.2×86.5×7.3
39	108	サルダナパロスの死	ウージェーヌ・ドラクロワ	74×86×10	69.1×84.7×7.5
40	30	休息する踊り子	エドガー・ドガ	80×88×5	79.2×85.3×3.5
41	53	舞台の踊り子	エドガー・ドガ	85×93×12	87.7×69.4×6.5
42	99	青衣のダンサー	エドガー・ドガ	103×115×14	100×92×6.5
43	100	ダンスのレッスン	エドガー・ドガ	112×100×14	100×91×7.7
44	156	ドピニー嬢	エドガー・ドガ	48×42×7	45×40×3.5
45	170	踊り子 ピンクとグリーン	エドガー・ドガ	61×53×7	60×51×4
46	171	舞台の一遇	エドガー・ドガ	61×52×7	59×51×4
47	20	籠の中の果物	エドワール・マネ	56×63.5×9	52.7×60.1×6.1
48	21	昼食	エドワール・マネ	89×110×7.5	85.9×107.3×6.5
49	48	バルコニー	エドワール・マネ	102×112×22	106.3×83.5×7.8
50	49	笛吹きの少年	エドワール・マネ	111×101×14.5	106×74×7.5
51	66	受胎告知	エル・グレコ	73×86×9	84.5×69.5×7.8
52	10	美術館前の橋(ポン・デ・ザール)	オーギュスト・ルノワール	81×111×10	77×106.8×8.5
53	11	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	オーギュスト・ルノワール	73.4×93.5×7	73.5×93.5×5
54	12	ポール遊びをする子供たち	オーギュスト・ルノワール	85×100×5.5	92.8×80.4×3.7
55	13	ドミノ遊びをするガブリエルとココ	オーギュスト・ルノワール	69×64×7.5	63.5×57.5×5.7
56	14	日傘の女と子供	オーギュスト・ルノワール	74×83×8	62.8×71.7×6.2
57	15	ピアノに寄る娘たち	オーギュスト・ルノワール	69.5×64×7	61×49×4.5
58	16	ピアノをひく婦人	オーギュスト・ルノワール	104×87×6	101.3×83.3×3
59	28	読書する二人の少女	オーギュスト・ルノワール	53×62×9	48×58×5
60	41	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	オーギュスト・ルノワール	102×112×15	86×106×6.5

通し 番号	作品 番号	作品名	作家名	寸法(外箱)	寸法(額)
				縦×横×幅	縦×横×幅
61	42	アルフォンシーヌ・フルネーズの肖像	オーギュスト・ルノワール	102×112×16	88.9×105.8×6.5
62	43	都会の踊り	オーギュスト・ルノワール	102×112×17	106.4×66.3×5.1
63	44	田舎の踊り	オーギュスト・ルノワール	102×112×18	106.4×65.9×4.5
64	104	内緒話	オーギュスト・ルノワール	57×70×8	53×65×5.5
65	146	船上の昼食	オーギュスト・ルノワール	64×76×11	61×73×7.5
66	158				
67	163	舟遊びをする人々の昼食	オーギュスト・ルノワール	65×78×8	61×73×5
68	31	花	オディロン・ルドン	98×87×5	93.3×82.3×3.2
69	60	花と壺	オディロン・ルドン	51×60×5	58×48.9×5.2
70	169	クリスパンとスカパン	オノレ・ドーミエ	53×61×7	50×60×4
71	135	サン・マルコ広場	カナレット	86×112×10	84.2×109.8×8.8
72	81	ヴィル・ダヴレー	カミーユ・コロー	41×59×6	34.7×53.9×4.3
73	111	林の中の池	カミーユ・コロー	86×75×9	80.5×70×5.2
74	112	テルニ湖	カミーユ・コロー	80×111×10	76.3×106.2×7.6
75	9	セーナ川とルーヴル	カミーユ・ピサロ	85×92×14	75.4×86×8
76	39	棒きれを持つ少女	カミーユ・ピサロ	102×112×9	106.8×90×7.3
77	40	赤い屋根	カミーユ・ピサロ	100×113×15	90.8×106×7.2
78	70	イタリア通り	カミーユ・ピサロ	57×75×3	47.2×62.3×2
79	155	ポントワーズ・ライ麦畑とマチュランの丘	カミーユ・ピサロ	67×59×8	64×57×4
80	168	井戸端の女と子供	カミーユ・ピサロ	61×52×7	60×50×4
81	32	銅花器のタチアオイ	ギュスターヴ・クールベ	62×71×6	67.4×56.8×4.1
82	54	嵐の海	ギュスターヴ・クールベ	77×97×7	75×94.8×5.5
83	162	フラジェの榎の木	ギュスターヴ・クールベ	76×63×10	73×60
84	56	接吻	グスタフ・クリムト	77×78×3	76.1×76.1×2
85	57	水蛇1 (アイ)	グスタフ・クリムト	48×103×3	46.7×100.7×2.2
86	2	ひなげし	クロード・モネ	85×91×15	69.2×82.6×7
87	3	ジヴェルニー近郊のけし畑	クロード・モネ	80×117×9	75.7×115.2×6.4
88	4	ヴァランジュヴィルの漁師の家(崖の上の漁師小屋)	クロード・モネ	80×100×7	73.3×95.6×5.7
89	5	庭のカミーユ・モネと子供	クロード・モネ	74×83×8	67.7×78.4×5.7
90	6	印象・日の出	クロード・モネ	85×92×13.5	72.4×86.4×8.8
91	7	アンティーヴの古い砦	クロード・モネ	82×97×8	77×93.8×5.5
92	8	白と紫の睡蓮	クロード・モネ	84×114×9	82.8×113.1×9
93	34	青い睡蓮	クロード・モネ	101×113×14	90.3×90.1×6
94	35	アルジャントゥィユの橋	クロード・モネ	101×114×14	88.1×106.5×6
95	36	モントルグイユ街	クロード・モネ	101×114×14	106.5×75.7×6.3
96	37	セーナに沈む日、冬の効果	クロード・モネ	103×114×14	79.6×106.5×7.2
97	38	シヴェルニーの池 庭園と日本風の橋	クロード・モネ	110×110×9	104.5×108.5×7
98	159	睡蓮・水の風景	クロード・モネ	63×53×10	51×60
99	175	パラソルをさす女	クロード・モネ	95×70×8	92×66×7
100	176	睡蓮の池	クロード・モネ	42×46×7	41×46×4
101	178	アルジャントゥィユのヨットレース	クロード・モネ	70×94×10	68×92×8
102	177	ラ・クロッシュ	佐伯祐三	55.5×64×6	53×61×4
103	142	春	サンドロ・ボッティチェッリ	118×167.5×11	117×166.5×11
104	143	ナポレオンの戴冠式	ジャック＝ルイ・ダヴィッド	118×184×9	116.1×181.2×8
105	107	レカミエ夫人の肖像	ジャック＝ルイ・ダヴィット	70×98×9	67.7×92.4×7
106	125	収穫	シャルル＝フランソワ・ドービニー	103.5×112×14	81×107×8.5
107	129	鳥の死をいたむ少女	ジャン＝バティスト・グルーズ	114×102.5×13.5	106.5×91.5×7
108	126	食前の折り	ジャン(＝バティスト) シメオン・シャルダン	114×102×14.5	106.5×85×6.7
109	93	糸をつむぐ少女	ジャン・フランソワ・ミレー	103×115×15	107.5×90×8
110	94	晩鐘	ジャン・フランソワ・ミレー	103×115×14	106×93×8
111	95	落穂拾い	ジャン・フランソワ・ミレー	103×115×14	86.5×106×8.5
112	96	春	ジャン・フランソワ・ミレー	103×115×14	91.5×109.5×7
113	97	羊飼いの少女	ジャン・フランソワ・ミレー	100×120×9	95×119.5×7.5
114	98	馬鈴薯植え	ジャン・フランソワ・ミレー	99×115×8.5	94.5×113.5×5.5
115	153	ポーリーヌ・オノの肖像	ジャン・フランソワ・ミレー	76×64×11	73×61×7.5
116	128	ポール＝アン＝ベッサン 満潮の外港	ジョルジュ＝ピエール・スーラ	102×114×14.5	91.4×106.4×8.8
117	183	雨・蒸気・スピード・プレート・ウエスタン鉄道	ジョゼフ・マロード・ ウィリアム・ターナー	94×78×5	53×65×5
118	144	ラス・メニーナス(女官たち)	ディエゴ・ベラスケス	139.5×125×115	135×120.6×8.6
119	123	女王マルガリータの肖像	ディエゴ・ベラスケス	110×95×14	106.3×87.5×8.5
120	113	メデューズ号の筏	テオドール・ジェリコー	70×95×9	67.7×92.4×7.4

通し 番号	作品 番号	作品名	作家名	寸法(外箱)	
				縦×横×幅	縦×横×幅
121	82	森の池	テオドール・ルソー	54×71×6	48.5×67×4
122	124	道路のそばの沼	テオドール・ルソー	102×114×14	83×110.5×10
123	118	泉	ドミニク・アングル	60×95×9	92.2×55.2×7.5
124	119	ヴァルパンソンの浴女	ドミニク・アングル	94×69×8	92×67.5×7
125	120	グランド・オダリスク	ドミニク・アングル	65×95×9	60.4×92×8
126	181	パルナッソス山へ	パウル・クレー	46×55×6	43×51×5
127	61	ゲルニカ	パブロ・ピカソ	60×108×7.5	59×108×6.3
128	62	鏡の前の若い女	パブロ・ピカソ	87×74×6	85×72.5×5.5
129	173	雪中の狩人	ピーター・ブリュエゲル(父)	105×131×8	99×128×4.5
130	136	洗礼者ヨハネの説教	ピーテル・ブリュエゲル(父)	76×115×10	75×114×10.8
131	137	洗礼者ヨハネの説教	ピーテル・ブリュエゲル(父)	76×115×10	76.2×114.1×7.4
132	145	雪中の狩人	ピーテル・ブリュエゲル(父)	109×139×9.5	107×137.8×5.3
133	115	静かな港	ピエール・ドートルロー	65×85×6	84.3×64.6×5.2
134	116	海岸	ピエール・ドートルロー	65×87×6	64.4×84.1×4.8
135	78	タワーブリッジ・ロンドン	ビュッフェ	63×91×5	61×90×4.3
136	139	ノルマンディ風景	フェリックス・ヴァロトン	73×96×11	68.3×91×7.5
137	127	ジプシーの女	フランス・ハルス	113×111×14	106.3×91×6.5
138	122	展望台のバラ色の少女	フレデリック・バジール	114×104×14	108.5×86×9
139	76	ばら	ベルナルド・ビュッフェ	60×70×5	68.6×56.2×4.1
140	77	赤い花	ベルナルド・ビュッフェ	60×80×6	68×78.5×6
141	174	ベネチア(大運河)	ベルナルド・ビュッフェ	105×132.5×8	99×128×4.5
142	86	ヴァイルマティ	ポール・ゴーガン	102×112×14	89.5×106×8.5
143	87	黄金色の収穫	ポール・ゴーガン	100×114×14	88.5×106.5×7.5
144	88	白い馬(女と白い馬)	ポール・ゴーガン	93×111×8	88×106×6.5
145	89	白い馬	ポール・ゴーガン	85×92×15	86×65.5×7.2
146	101	静物	ポール・ゴーガン	80×92×6	81×91×5.7
147	102	オスニー村の入口	ポール・ゴーガン	77×90×7	74×86.5×5
148	103	タヒチの牧歌	ポール・ゴーガン	75×89×8	68.5×83.5×5.2
149	167	タヒチの女(浜辺にて)	ポール・ゴーガン	61×74×7	60×72×4
150	85	マルセイユ港	ポール・シニャック	83×73×8	68.7×79.1×5
151	121	ヴェニス	ポール・シニャック	103×86×8	84×101.5×8.6
152	25	トロネの道とサント=ヴィクトワール山	ポール・セザンヌ	77×90×7	71.5×84×5
153	26	池のほとりで憩う人々	ポール・セザンヌ	65×72×7	59.1×67.7×5.5
154	27	池のほとりで憩う人々	ポール・セザンヌ	65×72×7	59×67.4×5.4
155	29	静物	ポール・セザンヌ	56×65×6	55.3×62.7×5
156	79	カルタ遊びをする人々	ポール・セザンヌ	53×62×5	49×57.5×4.5
157	90	首吊りの家	ポール・セザンヌ	84×91.5×13.5	76.5×87×6.5
158	91	エスタックから見たマルセイユ港	ポール・セザンヌ	100×112×14	91×106×7.5
159	92	湯わかしと静物	ポール・セザンヌ	103×115×14	90.5×107.5×4.5
160	151	りんごとオレンジ	ポール・セザンヌ	57×64×10	54×61×7.5
161	114	アクロポリス	ポール・デルヴォー	72×100×7	71×99×6
162	59	黒いマンテラをかぶったエヴァ・グールゴー 男爵夫人の肖像	マリー・ローランサン	75.5×60×6	72.9×57.8×4.6
163	72	グラジョラス	マルク・シャガール	67×77×7	74.8×64×5.8
164	73	キリスト	マルク・シャガール	42×106×3	104.5×40.5×2.1
165	74	村の通り	マルク・シャガール	58×54×7	54.8×47×4
166	134	ハイロードの眺め	メインデルト・ホッペマ	84×114×10	83×113×8.7
167	166	広場の木立	モーリス・ド・ブラマンク	63×54.3×7.3	60×52.5×6
168	67	聖ヴィンセント通り	モーリス・ユトリロ	63×91×5	61.4×89.1×5
169	68	マーメルト市の教会	モーリス・ユトリロ	78×92×9	77.2×89×6.5
170	69	雪のラパン・アジル	モーリス・ユトリロ	66×85×5	64.2×92.6×6
171	71	モンマルトルの教会	モーリス・ユトリロ	54×62×5	52×59.2×5.2
172	130	セーナ河とパリのノートルダム	ヨーハン・バルトルト・ヨンキント	103×114×14	89×110.5×9
173	58	恋文	ヨハネス・フェルメール	53×62×5	49×57.5×4.5
174	141	天文学者	ヨハネス・フェルメール	58×47.7×7.8	53.8×44.5×7
175	148	青いターバンの女	ヨハネス・フェルメール	70×60×11	64×57×8
176	149	レースを編む女	ヨハネス・フェルメール	50×50×7	44×41×5
177	161	デルフトの眺望	ヨハネス・フェルメール	67×59×8	65.5×58
178	75	グランドゥーカの聖母	ラファエロ・サンティ	50×75×7	72.5×47×6.5
179	33	光の帝国	ルネ・マグリット	60×77×5	76.2×58.3×3.7
180	64	モナリザ	レオナルド・ダ・ヴィンチ	95×70×8	92.5×68×7
181	65	最後の晩餐	レオナルド・ダ・ヴィンチ	58×95×7	56×93.1×6.2
182	105	夜警	レンブラント・ファン・レイン	85×73×8	70.6×82.8×7
183	180	青い絵	ワシリー・カンディンスキー	63×63×6	60×60×3

(3)アウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」



当館スタッフが学校や施設を訪問し、映像による作品鑑賞・クイズ・インタビューを組み合わせた鑑賞プログラムを実施します。学校や幼稚園等での文化行事や授業との連携に最適です（オンライン・館内でも実施）。



訪問実施の様子



オンライン実施の様子



館内実施の様子

上映内容

茨城ゆかりの作家、当館の所蔵作品を紹介する映像番組や対話型鑑賞プログラム
※「ハロー！ミュージアム」映像番組一覧（P.17、18）を参考にしてください。

実施方法

訪問、オンライン（Zoom 等ウェブ会議ツール）、館内のいずれか

時 間

45 分間程度
※時間の延長、短縮については予約時にご相談ください。
※1日に複数コマの上映も可能です。

申込方法

電話で申込時に日程や内容を調整をします。ご希望の日時をお知らせください（HPで予約状況をご確認できます）。
訪問、オンライン上映の場合には、日程調整後に「ハロー！ミュージアム申込書（P.21）」をメールまたは郵便、FAX でお送りください。

※詳細は [HP<トップ → 教育プログラム → ハロー！ミュージアム>](#)をご覧ください。

そ の 他

- ・ 訪問上映の場合には、使用機材を美術館が全て持参、準備します。学校の教室程度の広さがあり、暗幕などで暗くすることができ、コンセントがある会場をご用意ください。
- ・ オンラインで実施の場合には、インターネット回線、パソコンやタブレットなどの機器（マイクとカメラ機能付き）、パソコン画面を投影する電子黒板などのモニターをご用意ください。また、実施日までに、30 分程度の接続テスト（音声や画像のチェック等）を行います。
- ・ 館内上映の場合には、講堂等で上映します（P.5 参照）。団体鑑賞の申込時にご相談ください。



「ハロー！ミュージアム」映像番組一覧

- ・【内容】に(対話型)と記載のあるプログラムは、映像を一時停止して対話を行う時間を含むトータルの時間を記載しています。
- ・【対象】 幼：幼児 小：小学生(低：1～3年 高：4～6年) 中・高：中学生・高校生 成：成人 ○：おすすめ ★：特におすすめ

番号	タイトル	内容	時間	対象			
				幼	小	中高	成
1-1	レインボーワンダーランドー 憂鬱の世界ー	虹色に描かれた世界をリズムによって紹介	5分	★	○		
1-2	なんのおと？	音を聞いてどんな作品か考える番組(対話型)	20分	★	低		
1-3	ここからみるとすごいよ	視点や空間の異なる絵の面白さを紹介	5分	○	低		
1-4	わたしのおさんぽー絵をみておはなしつくったのー	女の子が絵の中をお散歩気分で楽しむ番組	5分	○	低		
1-5	川でおいのり	横山大観「流燈」を紹介	5分	○	★		
1-6	海っていいな	クロード・モネ「ポール＝ドモワの洞窟」を紹介	5分	★	★		
1-7	不思議な世界だね	小川芋銭の水辺の生き物たちが登場する作品「水魅戯」を紹介	5分	★	★		
1-8	ボンジュールマドモワゼル！	オーギュスト・ルノワール「マドモワゼル・フランソワ」をこども向けに紹介	5分	★	○		
2-1	友達やなかま	絵の中の人物の表情に注目する番組	5分		○		
2-2	牧場のどうぶつたち	牛や馬など牧場の動物を描いた作品を紹介	5分	○	○		
2-3	ゆかいななかま	鳥や猫たちの楽しい動物の作品を紹介	5分	○	○		
2-4	なにしてるのかな？	絵の中の人物や動物が何をしているのか考える番組	5分		○		
2-5	こころに残った色や形	印象に残ったものや風景を描いた作品を紹介	5分		○	○	
2-6	なにに見えるかな？ーたのしい色や形ー	抽象画が何に見えるのか考える番組(対話型)	20分	○	★		
2-7	どうぶつのおともだちーどこにいるのかな？ー	絵の中の生き物や動物を探す番組(対話型)	20分	★	★		
2-8	おおきなみずうみー霞ヶ浦の絵ー	小堀進他、霞ヶ浦のそれぞれの表現を紹介	5分		○	○	○
2-9	鳥やさかなみんなともだちー小林巢居人ー	さまざまな生き物が描かれた日本画を紹介	5分		○	○	○
2-10	かっぱのおはなし	小川芋銭のかっぱの作品を紹介	5分	★	★		
2-11	おひさまいいね	クロード・モネ他、太陽の光の感じをとらえた作品をこども向けに紹介	5分		○	○	
2-12	なんのいろ？	色が印象的な作品4点をこども向けに紹介	5分	★	○		
2-13	おひさまの感じ	クロード・モネ他、太陽の光の感じをとらえた作品を紹介	5分		○	○	○
2-14	月の光・街のあかり	三好節子他、夜・闇をとらえた作品を紹介	5分		○	○	○
3-1	五浦の画家	横山大観他、五浦で活躍した画家の作品を紹介	5分		高	★	★
3-2	茨城県近代美術館の印象派作品	クロード・モネ他、当館所蔵の印象派の作品を紹介	5分		高	★	★
3-3	空・雲、水のある風景	アルフレッド・シスレー他、空と水辺を描いた作品を紹介	5分		高	○	○
3-4	どこから描いているのかな	横山大観他、風景をみる視点の面白さを紹介	5分		○	○	
3-5	白い家	国吉康雄他、白い家が描かれた作品を紹介	5分		○	○	○
3-6	くらしのひとこま	脇田和他、くらしの中の風景の面白さを紹介	5分		○	○	○
3-7	描かれている人の気持ち	横山大観他、登場人物の心情が伝わる作品を紹介	5分			○	○
3-8	人物を描く	オーギュスト・ルノワール他、さまざまな人物画を紹介	5分		高	○	○
3-9	みんなのようす	前田青邨他、複数の人物を描いた作品を紹介	5分		高	○	○
3-10	中村彝の世界ー静物・風景ー	「雉子の静物」「大島風景」を含む、中村彝の静物画・風景画4点を紹介	5分		高	○	○
3-11	中村彝の世界ー描かれた人物ー	「男の顔」「裸体」を含む、中村彝の人物画4点を紹介	5分		高	○	○
3-12	やさしいきもちー永瀬義郎の版画ー	こどもをテーマとした、優しい表情の作品を紹介	5分		高	○	★
3-13	クロード・モネ「ポール＝ドモワの洞窟」	海岸の洞窟を描いた作品を詳しく紹介	5分		高	○	○
3-14	横山大観「流燈」	制作のきっかけや、細部について紹介	5分		高	○	○
3-15	オーギュスト・ルノワール「マドモワゼル・フランソワ」	オーギュスト・ルノワール晩年の人物画1点を詳しく紹介	5分		高	○	○

番号	タイトル	内容	時間	対象			
				幼	小	中高	成
4-1	風景との出会いーふと立ち止まればー	当館所蔵の代表的な風景画 10 点を紹介	12 分				○
4-2	五浦への誘い岡倉天心のこころ	岡倉天心の生涯と日本美術院の活動を紹介	15 分				○
4-3	茨城の風景	茨城県の風景を描いた作品を紹介	5 分		★	★	★
4-4	日本画で描く茨城の風景	日本画で描かれた茨城県の風景画を紹介	5 分		高	○	○
4-5	緑の中で	浅井忠他、森や草原の緑を描いた作品を紹介	5 分		高	○	○
4-6	海・川・湖	横山大観他、水のある風景を描いた作品を紹介	5 分		高	○	○
4-7	季節のようす	木村武山他、植物が表す季節感のある日本画を紹介	5 分		高	○	○
4-8	天気がつくる美しい風景	横山大観他、霧や雨をとらえた作品を紹介	5 分		高	○	○
4-9	こどもたちのいる風景	風景の中にこどもがいる日本画を紹介	5 分				○
4-10	外国の街や家	佐伯祐三他、日本人の描く外国の町並みや家の作品を紹介	5 分		高	○	○
4-11	机の上の世界	古賀春江他、机の上を描いた作品や静物画を紹介	5 分				○
4-12	静かな時ー菱田春草の日本画ー	菱田春草の描く世界を紹介	5 分				○
4-13	絵になるまでー日本画家浦田正夫ー	「池」の下図を含む、浦田正夫の日本画 5 点を紹介	5 分				○
4-14	中村彝「カルピスの包み紙のある静物」	中村彝の「カルピスの包み紙のある静物」を詳しく紹介	5 分		高	○	○
5-1	雄大な風景ー横山大観ー	気候や自然を描いた横山大観の作品を紹介	5 分		高	○	○
5-2	想いと祈りー横山大観ー	「流燈」を含む、横山大観の人物画を紹介	5 分		高	○	○
5-3	風景との出会いー小川芋銭ー	「海島秋来」を含む、小川芋銭の風景画を紹介	5 分		高	○	○
5-4	沼のほとりでみた夢ー小川芋銭ー	河童や動物たちを描いた小川芋銭の作品を紹介	5 分		高	○	○
5-5	横山大観ー日本の心を描いた画家ー	作品鑑賞の導入として大観の人物紹介	3 分		高	○	○
5-6	中村彝ー絵画にかけた情熱ー	作品鑑賞の導入として彝の人物紹介	3 分		高	○	○
5-7	小川芋銭ー沼のほとりで夢をみたー	作品鑑賞の導入としての芋銭の人物紹介	3 分		高	○	○
6-1	夭折の画家中村彝ーそのアトリエと生涯ー	中村彝の生涯と作品 14 点を紹介	13 分				○
6-2	小川芋銭ー風景との対話ー	小川芋銭の生涯と作品 21 点を紹介	14 分				○
7-1	版画の魅力	4 種類の版画の表現の違いや特徴を紹介	5 分				○
7-2	水彩画の魅力	透明水彩・不透明水彩の表現の違いや特徴を紹介	5 分				○
7-3	人物画の魅力	動きのある人物やその表情をとらえた作品を紹介	5 分				○
7-4	茨城の作家「水彩画の巨匠」小堀進	「驟雨」「トレド郊外」を含む、潮来市出身の小堀進の作品 4 点を紹介	5 分				○
7-5	茨城の作家「虹の作家」鬮嘸	「虹」「グッドバイ・ムッシュ・ゴーギャン」を含む、行方市出身の鬮嘸の作品 4 点を紹介	5 分				○
7-6	茨城の作家「日本画の大家」木村武山	「阿房劫火」「イソップ物語」を含む、笠間市出身の木村武山の作品 4 点を紹介	5 分				○
8-1	くらべてみると	油彩画、水彩画、日本画、水墨画の特徴を紹介	10 分		○	★	★
8-2	どんなポーズ？	人物のポーズの真似をして、その動きに着目する番組（対話型）	20 分		★	○	○
8-3	いろいろなかお	水彩画、パステル画など画材による表現の違いを紹介	8 分		★	★	★
8-4	おはなしのつづき	作品の場面の続きを考える番組（対話型）	20 分		○	○	○
8-5	「びょうぶ」ってなあに	屏風の見方や楽しみ方を紹介	7 分		★	★	★

3 教員向け講座－美術館セミナー

内 容

美術館の活用や鑑賞方法、美術の技法について教師の知見を広め、知識を深める「美術教育講演会」や「実技講座」を実施しています。

※図画工作科や美術科の研修会としてもご利用いただけます。美術館セミナー担当までお問い合わせください。

開催回数

年に3回程度

対 象

県内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の教員等

募集方法

当館ホームページまたは、各園や各校へ郵送やメールで送信する募集チラシ等でご確認ください。

※詳細は、[HP<トップ → 教育プログラム → 美術館セミナー>](#)をご覧ください。

令和4年度美術館セミナーの様子



美術教育講演会「背中の遠近法－日常にひそむもう一つの世界」
ワークショップ
「みんなでつくろうー『まばたきの葉』と2コマアニメーション」
講師：鈴木 康広 氏
(アーティスト / 武蔵野美術大学教授 /
東京大学先端科学技術研究センター客員研究員)

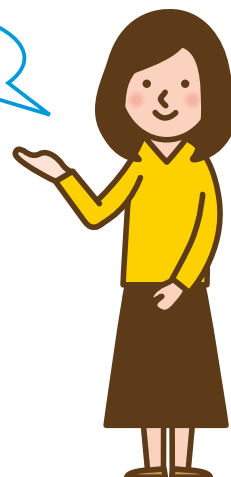


実技講座「江戸小紋－型染めの技を学ぶ」
講師：浅野 榮一 氏 (江戸小紋 型染作家)



美術教育講演会
「子どもの感性を豊かにする鑑賞教育と美術館と学校の連携
～学習指導要領の視点から～」
演習「鑑賞補助教材『ART トランク』を使った対話型鑑賞演習」
講師：平田 朝一 氏
(文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)

当館 HP に実施レポートを
掲載しています。



4 その他の学校向け教育普及活動

(1) 職場体験・インターンシップ

日頃なかなか目にすることのない美術館の裏方の仕事や、企画展開催中のお客様へのサービス等、さまざまな体験ができます。

申込方法

電話で申込み、日程や内容を相談した後、学校からの依頼文書を当館が受理して決定となります。



総合受付の体験



図書資料整理

(2) 高校生特派員制度

高校生特派員は、若い世代に芸術文化の魅力を発信し、当館展覧会及び関連イベントのサポートする役目を担います。
※詳細はHP<トップ → 教育プログラム → 高校生特派員>をご覧ください。

申込方法

当館ホームページまたは、各校へ郵送する募集チラシ、ポスターでご確認ください。

任 期

約1年間

特 典

任期中は、企画展及び所蔵作品展が**入場無料!**
特派員が同校または他校の生徒を伴って来館した場合、同伴者4名までの入館料が団体割引料金となります(特派員の保護者など、大人の同伴も可)。

活動内容

- ①情報発信
SNS等で展覧会の見どころやイベントなどの情報発信をお願いしています。
- ②各イベント参加・補助
 - ・高校生特派員美術展覧会(作品展示・作品紹介LIVE)
 - ・子どものためのワークショップ秋
 - ・特派員限定イベント(アートツアーなど)※複数参加可。イベントは変更・追記の可能性あり。

対象校

県内の公立・私立高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部



ワークショップでのボランティア活動



アートフォーラム体験コーナー準備



高校生特派員美術展覧会(会場:水戸オーパ)

各種申請書

以下の申請書等は当館のホームページからダウンロードすることができます。
必要に応じてダウンロード、印刷をしてご利用ください。

様式第1号(第18条第1項関係)
入館料減免申請書
茨城県近代美術館 館長 殿
申請者 住 所 _____
番 号 () _____
団 体 名 _____
代表者職氏名 _____
(担当者氏名 _____)

次のとおり入館料の減免を申請します。

観覧予定日	年 月 日(曜) : ~ :
観覧予定の 展覧会名	常設展 _____ 所蔵品展 _____ 企画展 _____
観覧予定の 人数内訳	児童生徒 _____ 学生等 _____ その他の者 _____ 引率者・ 付 添 人 _____ 合 計 _____
減 免 の 理 由 (該当数字に○ を付ける。)	1 小学校 2 中学校 3 義務教育学校 4 高等学校 5 中等教育学校 6 特別支援学校 7 児童福祉施設 8 老人福祉施設 9 障害者支援施設 10 その他() _____
備考	1 学校及び福祉施設での事業として観覧する場合には、申請者が校長又は施設の長であること。 2 個人又はグループで観覧する場合には、それぞれ減免の理由となる身分を証明するものを持参すること。
近代美術館入館(申請者は記入しないこと。)	1 受付年月日 (年 月 日) 決裁 _____ 2 認定方法 (①身分証明 ②) _____ 3 減免認定内容及び実績 _____
区 分	児童生徒等 _____ 学生等 _____ その他の者 _____ 引率者・ 付 添 人 _____ 合 計 _____
減 免 可 人 数	人 人 人 人 人
減 免 後 の 入 館 料 金 額	円
受 領 金 額	円
来 入 館 者 数	人 人 人 人 人
入 館 料 返 還 金 額	円
実 収 入 金 額	円
備 考	
交 通 手 段 (該当数字に○ を付ける。)	1 徒歩 2 公共交通機関 3 自家用車 (台) 4 大型バス (台) 5 中型バス (台) 6 小型バス (台) 7 マイクロバス (台) 8 その他 () _____

入館料減免申請書

トップ → 教育プログラム → 学校団体のご利用



簡易模写申込書
令和 年 月 日
茨城県近代美術館長 殿
申込者 住 所 _____
電 話 _____
学 校 名 _____
代表者職・氏名 _____

茨城県近代美術館内で美術作品(所蔵品)の簡易な模写を行いたいので申し込みます。

模写の目的 _____

実施日・時間
令和 年 月 日 (曜 日)
日程等、予定をご記入ください。
時 間 活 動 内 容
(例) 10:00 来館
10:00~11:10 模写活動

模写を行う場所 1 所蔵作品展示室1・2 (1階) 2 エントランス・ホール
(該当する番号を○で囲んでください)

参加学年・人数 _____

生徒氏名 _____

引率責任者
職・氏名 _____

使用したいもの
(○で囲んでください)
色鉛筆 画板 電動鉛筆削り器 クリップ
イーゼル バインダー

注) 生徒氏名が記入されない場合は、別紙に一覧を添付願います。

簡易模写申込書

トップ → 教育プログラム → 簡易模写



茨城県近代美術館
ハロー！ミュージアム 申込書
年 月 日
茨城県近代美術館長 行

団体名 _____
代表者職氏名 _____
住所 〒 _____
連絡先 TEL: _____
FAX: _____
メール: _____
担当者氏名 _____

次のとおり申し込みます。 (※申込書は各自にお持ちください。)

実施のわらい		
実施場所住所 (上記と異なる場合)	〒 _____	
上映する部屋	(階)	
上映日時	年 月 日 ()	年 月 日 ()
時間内訳	① : ~ : ② : ~ : ③ : ~ : ④ : ~ :	① : ~ : ② : ~ : ③ : ~ : ④ : ~ :
参加学年・年齢		
参加人数		
上映希望番組		

申込先(メールまたはFAX、電話のいずれか): 茨城県近代美術館「ハロー！ミュージアム」担当
〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1 / TEL: 029(243)5111 / FAX: 029(243)9992
E-mail: hello@modernart.museum.ibk.ed.jp

ハロー！ミュージアム申込書

トップ → 教育プログラム → ハロー！ミュージアム



アートカード借用申請書

令和 年 月 日

茨城県近代美術館長 殿

申請者
施設・団体名 _____

職・氏名(代表) _____

住所 _____

下記のとおりアートカードの借用を申請します。

使用目的と方法			
展示(使用)期間 (1か月貸出)	令和 年 月 日()	～	令和 年 月 日()
借用日時	令和 年 月 日()	時	分
返却日時	令和 年 月 日()	時	分
管理について	使用期間中のアートカードについて申請者が全責任を負います。		
担当責任者名			
連絡先住所			
TEL	-	-	FAX - -
借用するカード	8セットを ()組	セット名	
	ばらセット ()セット	ばら セット名	
備考			

※二重線の欄は受け取りする時に記入してください。
※1か月以上借用したい場合は、相談の上、その月の分の申請書もご提出ください。
※ホームページの「教育・研究」→「アートカードの貸出」→「アートカード借用申請書」のデータファイルがありますので、入力してご提出ください。

アートカード使用報告書

使用者	機 関(学校名): 職・氏名:
使用期間	令和 年 月 日()～令和 年 月 日()
使用のねらい	・ ・
活 動 名	
実施方法(活動の流れ)別添可	
感 想 等:	
使用風景(写真等) ※当館ホームページに使用してもよい写真	

複製画とともに使用した参考資料:
(ワークシートなどがあれば添付願います。)
※当館のホームページに掲載させていただく場合がございます。その際は、ご連絡いたします。
※ホームページの「教育・研究」→「アートカードの貸出」→「アートカード報告書」のデータファイルがありますので、入力して、ご提出ください。



アートカード借用申請書

トップ → 教育プログラム → アートカードの貸出



アートカード使用報告書

複製画借用申請書

令和 年 月 日

茨城県近代美術館長 殿

申請者
施設・団体名 _____

職・氏名(代表) _____

住 所 _____

下記のとおり複製画の借用を申請します。

借用する複製画	別紙 点 (借用の際に点数が決まってからの記入でもよい。)
使用目的と方法	
展示(使用)期間 (4か月貸出)	令和 年 月 日()～令和 年 月 日()
借 用 日 時	令和 年 月 日() 時 分
返 却 日 時	令和 年 月 日() 時 分
管理について	借用期間中の複製画については申請者が全責任を負います。
担当責任者名	
連絡先住所	
TEL	- - FAX - -
備 考	

※ホームページの「教育・研究」→「複製画の貸出」→「複製画借用申請書」のデータファイルがありますので、入力してご提出ください。



複製画借用申請書

トップ → 教育プログラム → 複製画の貸出



複製画使用報告書

複製画使用報告書

使用者	機 関(学校名): 職・氏名:								
使用期間	令和 年 月 日()～令和 年 月 日()								
使用のねらい	・ ・								
使用した複製画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">点 数</th> <th style="width: 50%;">点</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">作品名</th> <th style="width: 50%;">作者名</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	点 数	点	作品名	作者名				
	点 数	点							
作品名	作者名								
活 動 名									
実施方法(活動の流れ)別添可									
感 想 等:									
使用風景(写真等) ※当館ホームページに使用してもよい写真									

複製画とともに使用した参考資料:
(ワークシートなどがあれば添付願います。)
※当館のホームページに掲載させていただく場合がございます。その際は、ご連絡いたします。
※ホームページの「教育・研究」→「複製画の貸出」→「複製画借用申請書」のデータファイルがありますので、入力してご提出ください。

鑑賞ワークシート①

「よ〜くみてみよう」……私の気になる作品

氏名 (

)

1 「よ〜くみてみたい」と気になる作品を一つ選ぼう

作品名

2 「よ〜くみて」どこがどのように気になったのかを書こう

3 気がついたこと、感じたことを書こう

- ・何が描かれているのかな？
- ・色や形からどんな感じがするのかな？

4 下からテーマを選んで、自分なりに想像したことを書こう

- ・どんな音がする？
- ・どんな匂いがする？
- ・触った感じは？
- ・どんな温度？
- ・登場人物のセリフがあるとしたら？
- ・続きがあるとしたらこの後どうなる？
- ・もし〇〇だとしたら……

5 作品を「よ〜くみてみたら」新しく気がついたこと、または本日の鑑賞でわかったことがあれば書こう

「おすすめします！」ここからみるとこんな感じ

氏名 (

)

右下のイラストは茨城県近代美術館のエントランスロビーにある作品です

1 いろいろな距離や角度から作品をみて、気がついたことや感じたことを書こう

【みたところ】 ・正面 ・横 ・下から
 ・遠くから ・近くから ・その他

例：○○からみると～に見える ○○からみると～な感じがする



2 自分のおすすめの角度を探そう

おすすめはどの角度かな？

なぜその角度がおすすめなのかな？

3 作品をみて想像しよう

何をしているところかな？

どこからそう思ったのかな？

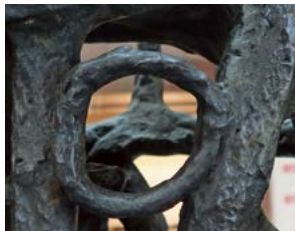
4 本日の鑑賞でわかったこと、気がついたことを書こう

Blank space for writing observations and insights from the artwork.

「想像をふくらませよう！」

氏名 ()

下のイラストは茨城県近代美術館のエントランスロビーにある作品です



- 上の4枚の写真は作品のどの部分かな？みつけたら上のイラストに印をしてみよう
- 作品全体をみて、自分なりに想像をふくらませてみよう

何をしているところかな？

どこで生まれたのかな？

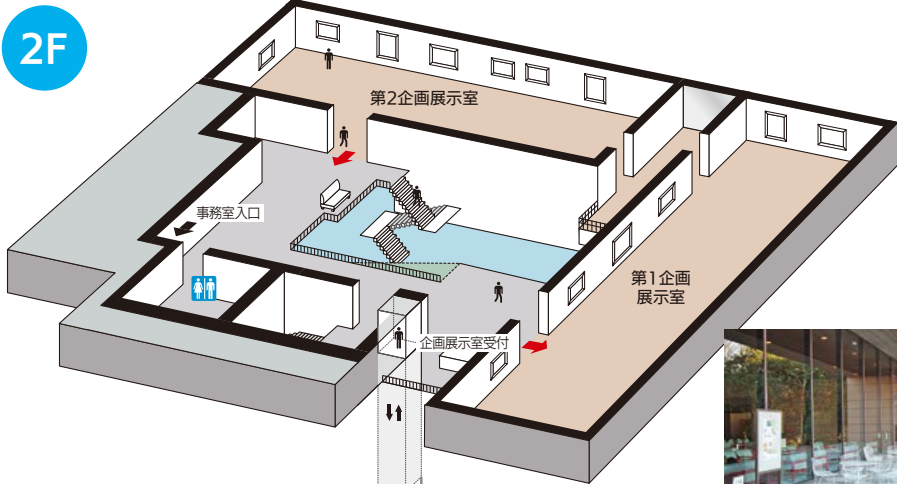
ニックネームをつけるとしたら？

- なぜそう考えたのか、理由を書いてみよう

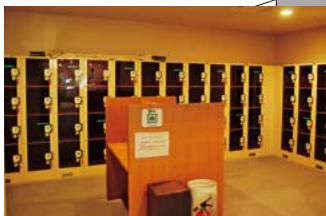
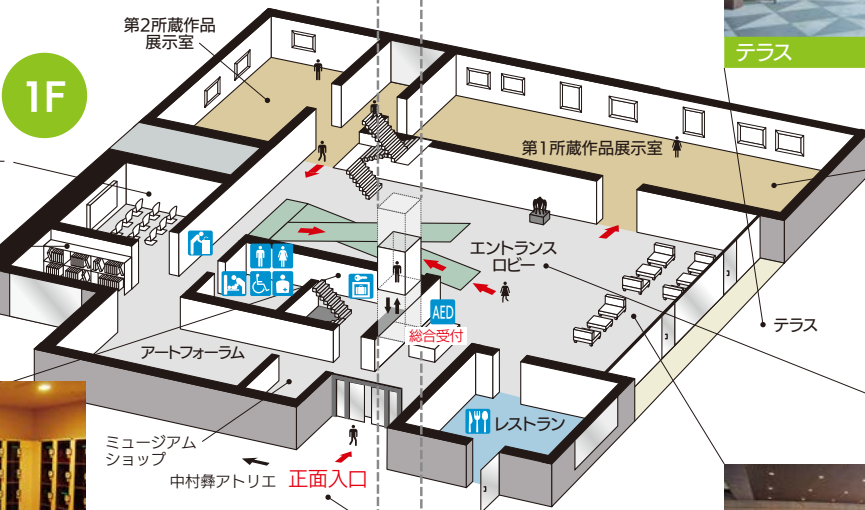
- こことはちがう場所にあったら……!？どんな場所が似合うかな？上のイラストに風景を描こう
- 本日の鑑賞でわかったこと、気がついたことを書こう

館内立体マップ

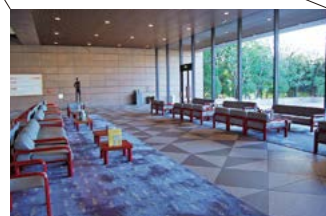
-  AED
-  男子・女子トイレ
-  身体障害者、オストメイト対応トイレ
-  ベビーベッド
-  コインロッカー
-  水飲み場
-  レストラン



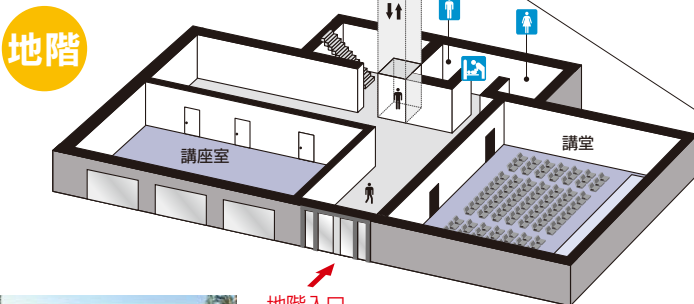
テラス



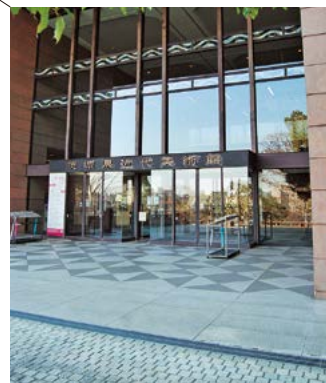
コインロッカー



休憩所



地階入口



正面入口

高校生特派員(P.20参照)茨城県立水戸桜ノ牧高等学校美術部が作成した館内イラストマップは、HPからダウンロードすることができます。



2F

2階の第1・2企画展示室では、国内外の優れた美術作品による企画展を年4～5回開催しています。

1F



所蔵作品展示室

第1所蔵作品展示室では、「日本の近代美術と茨城の作家たち」というテーマで当館の所蔵作品を中心に展示しています。第2所蔵作品展示室では、当館の所蔵品をいろいろなテーマのもと、展示しています。



アートフォーラム



エントランスロビー

スクールオリエンテーションは、ここでいきます。



映像コーナー



展示コーナー



図書コーナー



展示コーナー

アートフォーラムでは、美術に関する解説映像や図書資料などをご覧いただけます。子どもから大人まで自由に楽しめる無料のスペースです。

地階

講堂では、講演会や美術講座、コンサートや館内「ハロー！ミュージアム」を開催します。

講座室では、実技講座や創作活動(ワークショップ)等を行っています。イベント等で使用していなければ昼食のためにご利用いただくこともできます。



講堂



講座室

ご利用案内

- 開館時間…………… 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- 休館日…………… 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)及び年末年始(12月29日から1月1日まで)
※臨時休館日については、HPでご確認ください。
- 入館料…………… 次の方々は、入館料減免申請書の提出により、無料です。
 - ・教育課程に基づく教育活動の一環として入館する茨城県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、茨城県外を含む特別支援学校の児童生徒並びに引率者
 - ・教育課程に基づく教育活動の一環として入館する茨城県内幼稚園の幼児の引率者
 - ・保育所(園)、幼保連携型認定子ども園等の園児の引率者

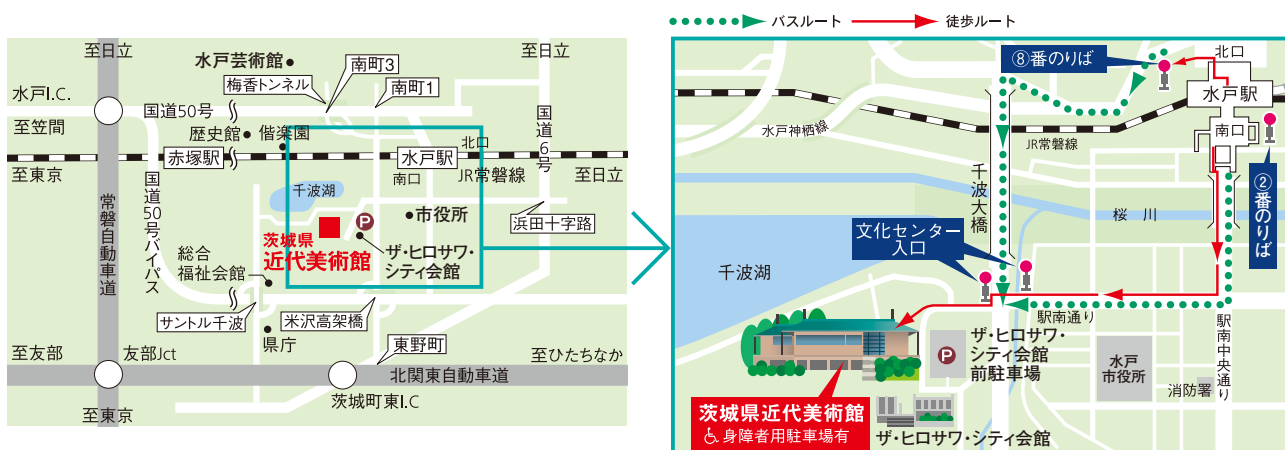
交通のご案内

水戸駅から

- 徒歩…………… 水戸駅南口から約20分
- バス…………… 水戸駅北口⑧番または南口②番(平日のみ)のりばからバス乗車約5分「文化センター入口」下車
- タクシー…………… 水戸駅南口から約5分

学校から車やバスで来館する場合

- 常磐自動車道／水戸ICから国道50号バイパス経由で約20分
- 北関東自動車道／茨城町東ICから約15分
- 駐車場…………… 当館正面の「ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場」をご利用ください。
入口で一度駐車料金をお支払いいただきますが、当館総合受付にて駐車料金のレシートと引換えに返金いたします。展覧会をご覧いただく場合に限りです。
普通車 420円 / マイクロバス 840円 / 大型バス 1,570円
※駐車料金は改定される場合もあるため、事前にHP等でご確認していただくことをおすすめします。



茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 666-1

TEL.029-243-5111 FAX.029-243-9992

URL <http://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/>

E-mail info@modernart.museum.ibk.ed.jp (代表アドレス)



当館の普及・広報事業は宝くじの収益金で実施されています。

発行年月日/2023年3月31日